



文窓の若葉

No. 4

「自主・協同・責任」の精神で、たくましくしなやかに生き抜き、我が国と郷土を愛し夢と志あふれる心豊かな生徒の育成

いよいよ冒険の第2幕

2学期のテーマは「凡事徹底」

長い夏休みもあっという間に終わりました。猛暑酷暑の続く厳しい日々さえも、終わってみればかけがえのない夏の思い出となりました。

1学期の終業式で、私は生徒たちには夏休みのミッションを提案しました。それは「毎日、必ず家族の人に3回『ありがとう』と言う」でした。

家族にありがとうと言うこと自体は、それほど難しくはないと思います。しかし、ミッションを達成できなかった人は、すっかり忘れていたり、別に言わなくても家族だからまあいいか・・・とスルーしたりして、様々な理由で「継続」ができなかったのではないのでしょうか。

実は、そこが最も大事なところですよ。この2学期は、簡単なことに手を抜かず継続するために「あともう一步」を意識してみましょう。やればできるのに、くじけそうなときや、自分を甘やかして手抜きしそうになったときに、「もうあと一歩だけ前に進む」ことを実践してみてください。

応神中生活の「冒険」も第2幕の始まりです。2学期は様々な学校行事が目白押しです。皆さんが自分の持っている力を発揮できる場面は、いくらでも用意されています。3年生の進路実現に向けた取組も、いよいよ本格的になります。大きな成果は、小さな一歩の積み重ねがもたらします。

学習面、生活面でそれぞれの目標にむけて、「もうあと一歩だけ前に進む」を実践し、令和8年が終わる頃には、その歩みが大きな前進となって、自分自身の成長を実感できるように、



ぼんじてって 「凡事徹底」

をみんなで実行しましょう。

応神中生の活躍は、夏休み中も時と場所を選ばず！



ヤーをはねのけ、見事な発表をしてくれました。

ある来賓の方から「最後の発表にもかかわらず落ち着いて、内容も素晴らしい弁論でした。」と褒めていただきました。

学校外でも、それぞれの生徒が持ち味を生かして力を発揮し、「応神中やるじゃん」と色々な方からの高い評価を勝ち得た、素晴らしい夏でした。

1学期は、ブロック総体などで各部活動が活躍しました。卓球部では女子シングルスで7位となり、サッカー部は第3位という快挙でした。音楽部は全日本合唱コンクール徳島大会で銀賞を獲得し、9月5日の四国大会へと進出しました。

そして、部活動以外でも、8月18日に徳島県立21世紀館のイベントホールで開催された、第72回中学校生徒弁論大会では、20校中20番目の「大トリ」というプレッシャー



「今日の風、なに色？」

みな 皆さんは、辻井 伸行さんという音楽家を知っていますか。2009年に「ヴァン・クライバーン国際
ピアノコンクール」で日本人として初めて優勝した、今や世界的に有名なピアニストです。

かれ 彼は、生まれつき両目の眼球が成長しない「小眼球症」と呼ばれる原因不明の障害があ
り、全く何も見えない状況でありながら、素晴らしい技術と表現力でピアノ演奏をする人
です。

こんかい 今回は、そんな辻井さんの言葉を紹介します。

- 辻井伸行（ピアニスト・新聞インタビュー等の発言より要約・引用）

ぼく はは ぼく め み
僕の母は、僕は目が見えないのに、
スキーや花火大会に連れて行ってくれました。
はは びじゅつかん つ
母は美術館にも連れて行ってくれて
え
絵についてたくさん説明してくれました。



いまおも 今思えば、こういうことを経験させてもらったのが大きかった。

うつく そら やま かぜ かん
美しい空や、山の風を感じ、
うつく こころ かん
美しいものを心の目で感じ
かぜ おし かん
風のささやきが教えてくれるものを感じられるのも
はは えいきょう
母の影響です。

め み
目は見えなくても
こころ め
心の目はみえているので、
まんぞく
満足しています。
だから、今は見えるように
なりたいたとは思いません。
でも、もし一瞬だけでも
め み
目が見えるなら、
かあ かな
お母さんの顔が見たいです。

母 いつ子さんの言葉

出典：辻井 かつ子「母・いつ子さんの子育て体験 世界的ピアニスト辻井伸行はこうして生まれた」
『知知』2012年1月号 抜粋要約

人とは絶対に比べずに、
その子の本分を見つけて
思い切り伸ばしてあげる。

子供が「やってみたい」と言ったとき、

「あなたならできるかもしれないね」

と応援してあげることが、親の役目です。

原典：2009年6月のヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール優勝後の記者会見。およびその際で紹介された辻井さんとご両親のエピソード



徳島市応神中学校

TEL 088-641-1019

電話対応 7:30～19:00（土日祝は除く）

【学校HP】 https://school.e-tokushima.or.jp/jh_oujin

